

2015年1月19日

各 位

旭化成ケミカルズ株式会社

ポリカーボネート樹脂原料ジフェニルカーボネートの  
新製法「DRC法DPCプロセス」実証プラント建設について

旭化成ケミカルズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小林 友二）は、ポリカーボネート樹脂の原料であるジフェニルカーボネート（DPC）の新製法として、ジアルキルカーボネート（DRC）を経由した製造プロセス（以下、「DRC法DPCプロセス」）を開発しました。このたび、本製法の実証プラントを水島製造所内に建設することを決定しましたので、お知らせいたします。

1. 実証プラント建設の目的

現在、当社では“二酸化炭素を原料とする非ホスゲン法ポリカーボネート樹脂製造プロセス”の技術ライセンス事業を展開しています。今回のDRC法DPCプロセスの開発により当社非ホスゲン法ポリカーボネート樹脂ライセンス事業の競争力を強化します。

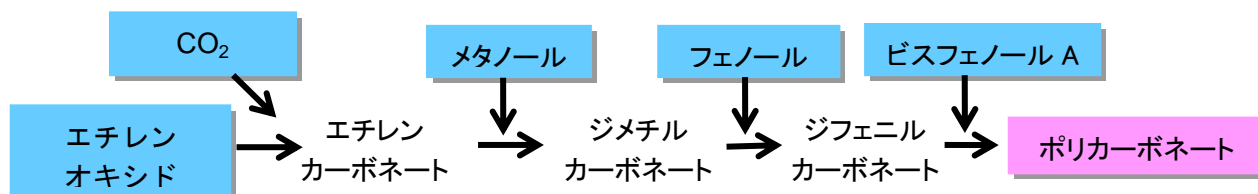
2. DRC法DPCプロセスの特徴

本プロセスは、二酸化炭素とアルコールおよびフェノールを原料とし、当社が開発した独自の触媒を用いてDRCを経由してDPCを製造する技術です。従来の当社非ホスゲン法と異なりエチレンオキシドを原料としないため、エチレンセンターに依存せず製造場所の立地制約が緩和されます。また、反応を簡素化することにより従来の当社非ホスゲン法に比べてエネルギー使用量の低減ならびに生産コスト削減にも寄与します。

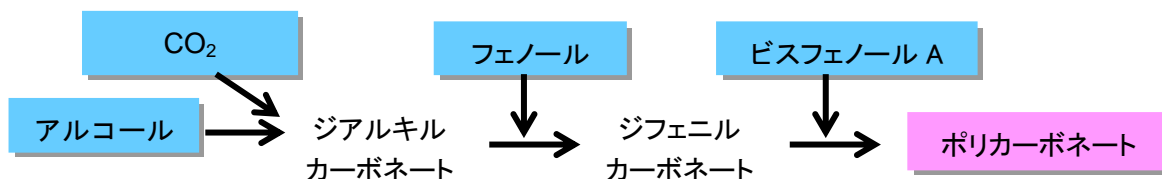
本技術は、循環炭素化学の新たな技術として世界の注目を集めるものと期待されます。

<製造プロセス比較>

◆従来の当社非ホスゲン法ポリカーボネート樹脂製造プロセス



◆新製法による非ホスゲン法ポリカーボネート樹脂製造プロセス



3. DRC 法 DPC プロセス実証プラント計画概要

- (1) 立 地 : 旭化成ケミカルズ株式会社 水島製造所 B 地区 (岡山県倉敷市)
- (2) 能 力 : 1,000 トン/年
- (3) 稼働予定 : 2017 年 1 月

本技術は、NEDO (独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) のプロジェクト<sup>※1</sup> にて助成いただいた成果を基にしており、さらに本実証設備は、NEDO の新たなプロジェクト<sup>※2</sup> を活用しています。

<sup>※1</sup> 平成 22 年度イノベーション推進事業

<sup>※2</sup> 平成 26 年度戦略的省エネルギー技術革新プログラム事業

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

旭化成株式会社	広報室	TEL 03-3296-3008
旭化成ケミカルズ株式会社	研究開発総部	TEL 03-3296-3205